

令和7年度第2回我孫子市まち・ひと・しごと創生有識者会議（B分科会）  
議事概要

開催日時	令和7年10月21日（火）午前10時00分～12時40分
開催場所	我孫子市役所 分館 大会議室
出席者	委員：林委員長、池田委員、小川委員、庄司委員、薬師寺委員 事務局（企画政策課）：吉岡課長、河合課長補佐、鈴木主任、 西田主任、岡村主任、原田主任主事 （文化・スポーツ課）：永田課長補佐、宮澤主任、四家主任主事
公開／非公開	公開
傍聴人	1人

【議題】 令和6年度施策評価について

◎基本目標4 あびこにずっと安心して住み続けられるまちづくり

○施策名称：2－3 高齢者福祉の推進

<発言要旨>

・第1回会議で次回報告することとしていた、きらめきデイサービスの令和元年度及び2年度の利用者数並びに要支援・要介護認定率の目標値設定理由について、事務局より説明を行った。

委員：指標「要支援・要介護認定率」について、目標値は令和2年度時点の千葉県の数値とのことだが、令和6年度時点でも県の実数を下回っていること、また指標「きらめきデイサービス利用者数」についても、目標値には達していないもののコロナ禍以降回復基調にあることを考慮すれば、概ね良好といえる。

<施策の評価>

「概ね良好」とした。

○施策名称：7－3 スポーツの振興

<発言要旨>

・第2世代交付金を活用する「五本松運動広場整備事業」について、事業実施後に有識者による効果検証を実施するため、文化・スポーツ課より事前の説明があった。

委員：スポーツ施設の利用者数の資料に、五本松運動広場の利用者数が含まれていないが、今後変化を見ていくために数字を加えたほうがよい。

委員：市民体育館のメインアリーナの利用者数が減少しているが、要因は把握しているか。

事務局（文化・スポーツ課）：市民体育館のアリーナには空調設備がなく、熱中症アラートが発された場合は予約のキャンセルが可能としているので、暑さの影響を受けているものと捉えている。

委員：気象の影響というのは避けられないが、設定した目標値との関係で見ると未達成であるので、施策として良好とまでは言えないのではないか。

委員：メインアリーナの利用実績が減少している理由として空調の課題があるとのことだが、子どもがアリーナでスポーツをする際非常に暑く、熱中症の懸念がある。空調の整備を進める必要があるのでは。

委員：大学や高校でもスポーツを振興する上で安全・安心に取り組めるということが課題になっている。

<施策の評価>

「概ね良好」とした。

## ○施策名称：１－１ 防災・減災対策の推進

<発言要旨>

委員：指標「自治会による自主防災組織の組織率」について、地域ごとの世帯数、地域対策支部ごとの組織率を見ると、組織率に地域差があることが見受けられるので、地域差がある理由を伺いたい。また、地域差がある程度生じるのは仕方ないとして、例えば市内の災害危険度の高い低いに応じて、優先して組織していくところを進めるとか、あるいは既に高いところを維持していくとか、そういった視点で自主防災組織の組織率の向上またはその実績値の維持を進めていただきたい。

事務局：自治会によって年齢構成なども違い、日頃の活動の頻度も異なると聞いている。とくに組織率の低い我孫子、天王台地区においては、新規の登録がない状況であるので、市から自治会にチラシの配布などのPRはしているが、数値が伸びていない。今後もメリットや効果を提示してPRすることが必要であると考えている。

委員：消防団訓練参加率が低下しているが、参加の意欲の問題というよりも、実施日や時間による影響を受けているのか。

事務局：令和５年度まではコロナ対策のために訓練ごとに参加人員を設定していたが、令和６年度からは参加人員を設定せずに訓練を実施しており、全体の人数に対して参加率が減少した。担当課への確認では、個々の訓練における参加人員について要因は検証していないとのこと。指標の設定上、低下という見た目になってしまうが、訓練そのものの質、参加者は減ることなく継続できているとのことだった。

委員：指標「総合防災訓練の参加人数」について、500人という目標に対して551人が参加という説明をいただいたところだが、目標自体は定量的に評価しやすいのでこのような目標設定をされてると思うが、実際には、13万人の人口を抱えていることを踏まえると500人という目標設定は施策目的の達成のため十分なもののなか。市民全体への防災の意識づけということが最も重要なところだと思う。当然担当課として意識はされていて、広報やSNS等を通じて周知されているところだとは思いますが、そういった意識を今後も持って取り組んでいただきたい。

<施策の評価>

「概ね良好」とした。

## ○施策名称：１－２ 浸水対策の推進

<発言要旨>

委員：未達成の指標もあるが、目標値との乖離もそれほど大きくないため、施策として良好といえるのでは。

委員：指標「柴崎排水区の幹線整備延長」について、令和６年度から２か年に渡って事業を行うとの説明があったが、令和７年度には実績値が上がってくるという見込みなのか確認させていただきたい。

事務局：令和６年度は工事の予定の前段階の設計業務、用地測量、用地取得等の工程を予定通り進めており、令和７年度に今回準備を進めた工事範囲について実際に施工が行われるもののご理解いただきたい。

<施策の評価>

「良好」とした。

### ○施策名称：１－３ 防犯対策の推進

<発言要旨>

委員：２つ目と４つ目の指標の目標値の設定の仕方について、これまで見てきた指標は高いハードルを設けて、何とかして達成しようというものがほとんどだったが、こちらの指標では現状よりも低い目標値となっている。その値を下回らないようにしようという設定の仕方だったのか。それとも令和元年度や２年度はこの目標値よりも下回っていて、結果的に実績値が上回ったのか。

事務局：「市内一斉パトロール延べ参加者数」は、目標値を設定した令和２年度の実績値から、段階的に数字を伸ばしていくという目標設定をしている。「消費生活相談斡旋解決割合」に関しては、相談を受けたものはすべて解決したいという思いで取り組んではいるものの、必ずしも解決できる事案ばかりではないため、相談を受けた中で９割の解決を目標にしている。ここ数年は９割を超える実績となっており、毎年１,２００件から１,４００件ほどの相談が寄せられる中で、しっかりと対応できていると考えている。

委員：市内一斉パトロールの年間報告件数を見ると、我孫子南地区が７５件の報告があるのに対して、他の地区が０件や２件というのが気になる。我孫子南以外の地区で危険や不安な点がないというのではなく、きつい言い方をすると防犯パトロールそのものが形式的なものになってはいないかという懸念がある。防犯パトロールの質の向上が課題では。参加人数の目標を上回らせるということも大事ではあるが、我孫子南地区のようにしっかりと見て報告するという実のある防犯パトロールを進めるような啓発活動も必要と感じる。

<施策の評価>

「良好」とした。

### ○施策名称：１－４ 消防力の強化

<発言要旨>

委員：救急救命の講習について、目標値と実績値に乖離があるので目標設定のあり方を精査していただきながら、自助的な面で、実際の現場で救急救命ができる人間が

その場にいるということが限られた命を救うことに繋がるので、普及・拡大を期待しつつ、原因分析をきちんとしていただきたい。

委員：指標のうち、救急出場及び救助出動覚知から現場まで 10 分以内に到着できた割合に関して、目標は未達成ではあるものの、すでに次年度に向けた取り組みが動き始めている部分があるので今後に期待できる。救命講習の受講者数に関して、様々な場所での声掛けが聞かれていて、活動として評価できるのではないかと。2、3 年に一度の受講を推奨されているとのことなので、急激に数字が伸びる可能性は低い、概ね良好と評価できる。

<施策の評価>

「概ね良好」とした。

## ○施策名称：1－5 交通安全の推進

<発言要旨>

委員：指標「交通事故による死者数」の令和 3 年度以前の実績値は把握しているか。死亡者数ということを考えると、良好という評価はつけがたい。交通事故の件数は激減と言えるくらい減っているが、事故で亡くられる方が少なからずいるというところをどう評価するのかというのはすごく難しい。

事務局：総合計画に記載の令和 2 年度現況値は 4 人である。なお交通事故の発生件数の令和 2 年度現況値は 242 件であり、この値が目標値の設定の基礎となっているものと認識している。

委員：なかなか申し上げづらいところではあるが、総合的に考えると事故件数が減少傾向にあることから、施策として概ね良好と言えるのではないかと。

<施策の評価>

「概ね良好」とした。

## ○施策名称：5－3 公共交通の利便性向上

<発言要旨>

委員：成田線の往復本数や路線バスの状況について、全国各地で厳しい状況が続いている中で、目標には達していないものの、なんとか踏みとどまっているということ

ろは評価したい。あびバスの延べ利用者数も増加傾向であるということと、先々の啓発に期待したいということも踏まえて、概ね良好と評価できる。

委員：人口減少、高齢化社会においては移動手段の問題が大事になってくるが、何とかコロナ禍以前の状況まで戻ってきたという中にある。そうした状況を踏まえると、更なる足の確保に向けて頑張っていたいただきたいという思いも込めつつ、概ね良好と判断したい。

<施策の評価>

「概ね良好」とした。

### ○施策名称：5－4 安全で快適な道路の整備

<発言要旨>

委員：指標「橋梁長寿命化修繕実施数」の目標値が、年度ごとに1、2、1、2という設定になっているが、その理由は。また、昨年まで指標に設定していたアダプトプログラムを削除した経緯、理由などがあれば伺いたい。

事務局：橋梁の修繕は個別施設計画である橋梁長寿命修繕計画に基づき、国の交付金等を活用しながら実施している。すべての橋梁について5年に1回の定期点検を実施しながら、修繕工事を実施する数も計画上で定めている。予算との兼ね合いもあり、設計、工事含めて計画的に進めていくため、このような目標値の設定となっている。

アダプトプログラムの指標については、昨年までの審議の中で、本施策の目的が「誰もが安全で円滑に移動できる道路環境の整備」であることを考えると、市民の方の自主的な活動であるアダプトは施策の主たる部分ではないとのご意見があったため、施策評価を委員に実施していただく指標から除外した。

<施策の評価>

「良好」とした。

### ○施策名称：6－3 生活環境の保全

<施策の評価>

「良好」とした。

## ○施策名称：効率的・効果的な行財政運営の推進

### <発言要旨>

委員：近隣市町村と比較すると、我孫子市の経常収支比率はどう評価できるのか。

事務局：我孫子市の経常収支比率は大変厳しい状況となっている。近隣では鎌ヶ谷市も比率が高く、本市と同様に厳しい財政状況であると認識している。

委員：人事的なことから財政、デジタル分野など様々な面で行財政改革を進められている中で、数値で見ると良いもの、悪いものがある。達成している指標が多いとはいえ、一番金額として大きな影響がある指標が未達成ということを踏まえると、良好とまでは評価し難いため、概ね良好が妥当ではないか。

### <施策の評価>

「概ね良好」とした。

## ○施策名称：7－1 生涯学習の推進

### <発言要旨>

委員：指標「公民館学級・講座、出前講座を受講した延べ人数」について、目標値が高いように感じるが、令和3年度以前はこの目標値に近い実績があったということか。

事務局：総合計画の策定時に、現況値をコロナ禍前である令和元年度の数値 9,626 人を採用し、その現況値を基に令和9年度の目標値を 9,900 人として設定している。

委員：実績値がそこまで回復していないというのはわかるが、全国的に公民館利用が低迷しつつある中で 6,000 人台の利用という実績があるのに、目標値との乖離が目立ってしまうのがもったいないので、目標値の設定については今後検討の余地があると思う。

委員：指標が多く一概に評価し難いところではあるが、一つひとつ見ていくと、社会的な情勢、例えば若者の本離れ、スマホの利用増加、あるいは高齢化などの様々な要因がある中で、担当課はかなり詳細に達成状況の要因を分析されていて、数字自体は目標に達していないものも、悪い数字ということではないと感じている。

今年から設定したという指標「公民館学級・講座の満足度」はすごく重要な数字であり、追加していただけてありがたい。利用者数もさることながら、やはり来ていただいた方に、これだけ満足してもらえているという点が非常に評価できる部分だと思うので、概ね良好が妥当と考える。

<施策の評価>

「概ね良好」とした。

### ○施策名称：市民とともにつくる協働によるまちづくりの推進

<発言要旨>

委員：指標「まちづくり協議会主催事業実施率」について、年度当初に予定していた事業が全て実施できたら 100%、という数字だと理解してよろしいか。

事務局：お見込みのとおり。ただし年度当初に予定していなかった事業を実施する場合もあり、実績値が 100%を超える可能性もある。令和 6 年度は天候を理由に何件か実施できなかった事業があり、100%を下回った。

委員：全体のボリューム感がわかりにくいと感じる。ないとは思うが、仮に実施予定数を少なく設定しておけば高い実施率になってしまう。単純に実施した件数で評価してもよいと思う。

事務局：ご意見を所管課と共有し、指標の見直し、もしくは所管課のコメントで件数がわかるようにするなどの方法を検討する。

<施策の評価>

「概ね良好」とした。

以上